

科目名	科学技術英語 II English for Science and Technology	科目コード	51501
-----	---	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・5年（プログラム2年）
担当教員	山本 隆広（環境都市工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・1単位
開講時期・時間数	後期, 30時間【内訳：講義30, 演習0, 実験0, その他0】
教科書	なし
補助教材	配布プリント
参考書	R. Lewis ほか, 科学者・技術者のための英語論文の書き方, 東京化学同人

### 【A. 科目の概要と関連性】

科学技術英語は、文学英語と異なり、必要十分な内容を決まり文句で簡潔明確に伝える英語である。しかし、科学技術英語が使われる場合は、技術説明、カスタマーサービス、マニュアル、技術報告書、論文、照会・商談など多岐にわたり、言い回しや数学的、科学技術的表現も千差万別である。この授業では、時間的制約を考慮して、英文科学技術論文の書き方、特に英文概要を作成するための基礎を学習する。授業の最終段階では、各自の卒業論文の英文概要を作成する。

○関連する科目：科学技術英語Ⅰ

### 【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 英文概要の構成を理解し、使用頻度の高い表現をマスターする。	35%	(b3)
② 英文の構文解析を行い、書かれている内容を理解できる。	35%	(b3)
③ 簡単な技術的文章の英語訳ができる。	30%	(b3)

### 【C. 履修上の注意】

英和、和英中辞典は必ず必要です。授業には必ず持参すること。

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（70%）【内訳：中間30, 期末40】
- その他の試験（0%）
- レポート（30%）
- その他（0%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	授業ガイダンス, 英語論文の書き方 (1)	
2	英語論文の書き方 (2)	
3	英語論文の書き方 (3)	
4	五文型 (1回目)	
5	五文型 (2回目)	
6	準動詞	
7	関係詞	
8	接続詞	
9	中間試験	試験時間 : 80 分
10	英文概要の構文分析	
11	英文概要の定型的表現方法	
12	和文概要の作成	
13	英文概要の作成 1	
14	英文概要の作成 2	
—	後期末試験	試験時間 : 80 分
15	試験解説と発展授業	